

研究結果報告書

所属 嶺南師範学院

役職 専任教師

氏名 白梅紅

研究結果

研究テーマ：蔡元培と上原専禄の大学論の比較研究

本研究は、蔡元培と上原専禄の類似的な個人履歴及び交流がある事実を踏まえ、「学問の自由」と「大学の自治」を柱とした二人の大学論を比較研究するものである。本研究は住友財団の支援を受けかなりの進捗を進められてきたのだが、2019年末から始まったコロナ禍の影響で日中両国が封鎖措置を取り、お互いの訪問を禁止したため、当初企画していた蔡元培と上原専禄両氏の生まれ育った実地調査を行うことができず、文献集めをしてその査読による研究をやむを得ずおこなうことになったのである。その具体的な成果としては以下のようにまとめることができる。

蔡元培は中華民国初期の北京大学の学長であり、上原専禄は戦後一橋大学の初代学長である。両者の活躍していた時期は違うが、二人ともそれぞれの国の歴史的な転換期に当たり、それぞれの国の伝統的な大学で近代的な改革を行ってきた。蔡元培は、封建思想の溢れた北京大学で抜本的な改革を行い、自由な学問を主張し、上原専禄は戦後一橋大学の学制改革を行い、東京商科大学という単科大学から哲学・人文科学に重点を置く日本唯一の社会総合国立大学を立ち上げたのである。しかも、二人共ドイツの哲学・文化・思想を学んだ経験があり、その影響を受けたとして知られている。他方、二人は幼いころからそれぞれの国の伝統文化に影響され、各自の国の伝統を精通していたため、両者の教育理念には土着的な特徴が表れるようになる。これについて本研究は両者の膨大な文献を査読して明らかにし、それを学術論文にまとめ、発表するように努めている。

また、中国国内で上原専禄氏の研究はまれであることに従い、本プロジェクトの支援で自分は『上原専禄の大学論研究』という題目で著作を自筆し、それを出版するような工作に励み、今のところは全部の内容を終わらせ出版社とやり取りをし校正段階に入っている。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

《上原专禄高等教育思想研究》・白梅紅・天津人民出版社・2023.12(予定)